

令和3年第3回春日那珂川水道企業団議会定例会（第1日）

1. 出席議員（10名）

1番	白水祥太郎	2番	迫賢二
3番	真鍋昭洋	4番	田中夏代子
5番	川崎英彦	6番	野口明美
7番	吉永直子	8番	壽福正勝
9番	金堂清之	10番	上野彰

2. 欠席議員（なし）

3. 説明のために出席した者の職氏名（9名）

企業長	武末茂喜	副企業長	井上澄和
参与	小原博	参与	佐々木康広
局長	安藤敏洋	総務課長	平山幸生
浄水課長	光野吉成	施設課長	藤野哲
料金課長	中島勝巳		

4. 出席した事務局職員の職氏名（3名）

事務局長	山川誠治	書記	古賀大裕
書記	十時敬子		

5. 議事日程第1号

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 議案第5号及び議案第6号並びに報告第1号及び報告第2号の上程、提案理由の説明

6. 会議に付した事件名

議案第5号 令和3年度春日那珂川水道企業団水道事業会計補正予算（第1号）について

議案第6号 令和2年度春日那珂川水道企業団水道事業会計の決算について

報告第1号 令和2年度春日那珂川水道企業団水道事業会計予算繰越報告について

報告第2号 令和2年度春日那珂川水道企業団情報公開制度及び個人情報保護制度の運用状況について

開会 14時00分

○金堂議長 皆さんこんにちは。

それでは、定足数に達しておりますので、ただいまから令和3年第3回春日那珂川水道企業団議会定例会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の会議は、お手元に配付いたしております議事日程第1号により議事を進めてまいります。

日程第1、会議録の署名議員の指名を行います。

8番壽福正勝議員、10番上野彰議員を指名いたします。

日程第2、会期の決定を議題といたします。

今次定例会の会期は、本日、明日の2日間と決定したいと存じますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○金堂議長 御異議なしと認めます。よって、今次定例会の会期は、本日、明日の2日間と決定いたします。

日程第3、今次定例会に提出されております議案第5号及び議案第6号並びに報告第1号及び報告第2号を一括議題といたします。

早速、提案理由の説明を求めます。

武末企業長。

○武末企業長 皆さんこんにちは。

本日、ここに令和3年第3回春日那珂川水道企業団議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては大変御多用のところ御出席いただき誠にありがとうございます。

さて、本日提出いたしております議案は、議案第5号及び議案第6号の2件と報告2件でございます。

議案第5号は、「令和3年度春日那珂川水道企業団水道事業会計補正予算（第1号）について」でございます。

収益的支出におきまして、検針に関わる備用品費、料金システム改修業務及び不動産鑑定業務委託料、消費税及び地方消費税の増額、浄水場の運転管理等業務委託料、支払利息の減額により4,042万8,000円を減額するものです。

資本的支出におきましては、企業債償還金の減額により、48万1,000円を減額するものです。

議案第6号は、「令和2年度春日那珂川水道企業団水道事業会計の決算について」でございます。

令和2年度の収益的収支につきましては、収入において32億2,745万円余、支出において27億3,056万円余でありまして、当年度純利益3億9,673万円余を計上いたしております。

一方、資本的収支におきましては、収入において3億2,108万円余、支出において16億9,612万円余であります。資本的収入が資本的支出に対する不足額13億7,504万円余は、過年度分の損益勘定留保資金等で補填いたしております。

報告第1号は、「令和2年度春日那珂川水道企業団水道事業会計予算繰越報告について」でございます。

地方公営企業法第26条第1項の規定による建設改良費の繰越額について、水道施設台帳管理システム導入業務については新型コロナウイルスに係る緊急事態宣言の影響によるもの、水路等整備工事については工事が難航したことや地元地権者との協議に時間を要したこと、新型コロナウイルスの影響による製品の入荷遅延等によるもの、配水管布設工事については福岡市、福岡県の工事の遅延によるものです。

次に、同法第26条第2項ただし書の規定による事故繰越額について、平田台ポンプ場跡地測量調査等業務については、新型コロナウイルスの影響によるものです。

以上の理由から当企業団の予算を繰り越すこととなったため、地方公営企業法第26条第3項の規定に基づき報告するものです。

報告第2号は、「令和2年度春日那珂川水道企業団情報公開制度及び個人情報保護制度の運用状況について」でございます。

これは、春日那珂川水道企業団情報公開条例第23条及び春日那珂川水道企業団個人情報保護条例第20条の規定に基づき報告するものです。

上程いたしました議案は、いずれも水道事業運営上、極めて重要な案件でございます。何とぞ慎重に御審議の上、御議決賜りますようお願い申し上げまして、提案理由の説明を終わらせていただきます。

なお、詳細につきましては担当課長から補足説明をさせますので、よろしくようお願い申し上げます。

○金堂議長 企業長による提案理由の説明は終わりました。

次に、補足説明を求めます。

平山総務課長。

○平山総務課長 総務課長の平山でございます。議案第5号、議案第6号、それから報告第1

号、報告第2号について補足説明を私の方からさせていただきます。

まず、議案第5号「令和3年度春日那珂川水道企業団水道事業会計補正予算（第1号）について」でございます。

御説明のほうは、お手元の資料の青いインデックス、議案第5号の3つ下に赤いインデックスをつけております。議案第6号のすぐ上になりますが、令和3年度補正予算説明資料を御覧ください。

そちらを1枚めくっていただきますと、A3横の令和3年度補正予算（第1号）と題した資料をつけております。こちらによって説明をさせていただきます。

上のほうが収益的収入及び支出、下のほうが資本的収入及び支出となっており、それぞれ左側が収入、右側が支出となっております。

まず、上のほうの収益的収入及び支出でございます。

収入におきましては、補正の予定はございません。

右側の支出におきまして、水道事業において4,042万8,000円の減額を予定しております。

営業費用のうち原水及び浄水費におきまして4,819万8,000円の減額、委託料関係でございます。

業務費におきまして396万1,000円の増額、備用品費、委託料関係でございます。

次に、総係費において19万2,000円の増額、委託料関係でございます。

次に、営業外費用の支払利息38万7,000円の減額、消費税及び地方消費税400万4,000円の増額によるものでございます。

これによりまして、水道事業費用の支出総額が28億2,933万2,000円となります。

枠外のほうを御覧ください。

収益的収入31億1,344万1,000円、収益的支出28億2,933万2,000円、収支差引き額が2億8,410万9,000円、税抜き後の純利益は2億1,222万5,000円となりまして、既決予定額との差額は4,042万8,000円の増となります。

次に、下の段のほうの資本的収入及び支出でございます。

収入におきまして、収益的収入と同じく補正の予定はございません。

支出におきまして、48万1,000円の減額を予定しております。

企業債償還金におきまして48万1,000円の減額、企業債の償還元金で令和2年度の企業債の対象工事の繰越し、借入利息の利率確定によるものでございます。

これによりまして、支出総額が14億1,386万5,000円となります。

枠外のほうを御覧ください。

資本的収支の収入が3億4,893万6,000円、支出が14億1,386万5,000円、差し引きますと10億6,492万9,000円の不足が生じます。これにつきましては、その下に記載しておりますように、消費税資本的収支調整額7,054万6,000円、過年度留保資金等の9億9,438万3,000円で補填をいたします。

次に、議案第6号の補足説明をさせていただきます。

青いインデックスの議案第6号の2つ下に赤いインデックスで令和2年度決算説明資料をつけております。こちらを御覧ください。

こちらも1枚めくっていただきますと、先ほどと同様のA3横の資料がございます。これにより説明させていただきます。

こちら、先ほどの補正予算と同じく上のほうが収益的収入及び支出、下のほうが資本的収入及び支出となっております。

まず、上のほうの収益的収入及び支出でございます。

水道事業収益の決算額32億2,745万1,637円、内訳としましては、営業収益の給水収益26億1,130万円余、水道料金収入でございます。その他営業収益1億662万円余、下水道の賦課徴収業務の委託料等でございます。

次に、営業外収益、加入負担金1億6,151万円余、こちらは給水装置工事の申込みの際に収納するものでございます。

次に、他会計補助金578万円余、こちらは福岡地区水道企業団へ支払う費用等で、構成団体からの収入となります。

長期前受金戻入3億620万円余、これは受贈財産でありますとか負担金等で取得しました資産の減価償却に値する分をここに計上することとなっております。

その他営業外収益2,123万円余、こちらは有価証券の受取利息等になっております。

特別利益、過年度損益、修正益として1,477万円余となっております。

次に、右側の水道事業費用です。

決算額27億3,056万380円となっております。主なものを申し上げます。

営業費用の原水及び浄水費3億9,443万円余、こちらのほうは浄水場の運転に係る経費でございます。主なものは浄水場の運転管理、それから施設等の点検に要する委託料、修繕費、動力費等でございます。

配水及び給水費1億2,137万円余、こちらは配水池から各水道の御使用者のほうへ送る経費でございます。主なものとしては、公道の修理当番業務の委託料、それからポンプ施設等の点検委託料、配水管等の修繕費等がございます。

次に、業務費4,677万円余、料金徴収に係る経費で、検針等の委託料、それでありませ

とか通信費等でございます。

次に、総係費 4 億 1,095 万円余、当企業団の全般的な管理事務を行う経費で、主なものとしましては人件費、それから委託料等でございます。

議会費 339 万円余、監査費 68 万円となっております。

受水費 5 億 754 万円余、こちらは福岡地区水道企業団から受水をしておりますので、こちらに充てる費用でございます。

減価償却費 10 億 2,382 万円余、こちらは固定資産の減価償却費になっております。

資産減耗費 3,375 万円余、こちらは管路更新等によりまして除却する配水管等の残存価格を計上しております。

次に、営業外費用、補助金 342 万円余、福岡地区水道企業団へ支出するものでございます。

支払利息 1 億 28 万円余、企業債の償還利息でございます。

消費税及び地方消費税 5,974 万円余、雑支出としまして 66 万円余、こちらは過年度の水道料金等の還付に充てるものでございます。

以上でございますが、営業費用の繰越分をその下に記載しております。

原水及び浄水費 1,141 万円余、総係費 1,230 万円余、こちらは原町浄水場の管理棟、それからこちらの庁舎の外壁タイルの補修工事によるものでございます。

以上が収益的収支でございます。

枠外を御覧ください。

収益的収支の収入 32 億 2,745 万 1,637 円、支出 27 億 3,056 万 380 円、収支差引き 4 億 9,689 万 1,257 円となりまして、税抜き後の純利益は 3 億 9,673 万 7,948 円となります。

次に、下の段の資本的収入及び支出でございます。

収入の合計は 3 億 2,108 万 6,452 円、内訳としまして、企業債 2 億 8,000 万円、工事負担金 214 万円余、出資金、こちら福岡地区水道企業団へ支払いするもので 3,893 万円余でございます。

次に、資本的支出の支出合計が 16 億 9,612 万 6,938 円、内訳としまして、建設改良費の水源浄水場施設整備費 5 億 2,900 万円余、主に水源開発に伴うものでございます。配水施設整備費 1 億 1,010 万円余、配水管などの管路整備に要するものでございます。庁舎及び関連設備更新事業費 3,886 万円余、諸設備費 1,692 万円余、こちらは水道メーターの出庫、それから固定資産の購入費でございます。

次に、企業債償還金 5 億 503 万円余、企業債の元金になります。

次に、投資 3,893 万円余、福岡地区水道企業団へ出資するものでございます。

以上でございますが、建設改良費の繰越分をその下に記載しております。

水源浄水場施設整備費 4 億1,544万円余、配水施設整備費4,180万円余となっております。

枠外の右側を御覧ください。

資本的収支の収入が 3 億2,108万6,452円、支出16億9,612万6,938円、収入から支出を差し引きますと、不足額としまして13億7,504万486円となります。この不足額につきましては、その下に記載しております補填財源を御覧ください。消費税資本的収支調整額 9,923万4,252円、過年度留保資金12億7,580万6,234円で補填をいたします。

また、昨年度、令和 2 年度からの今年度への繰越分につきましては、枠外の下の部分に記載しております。

収益的支出におきまして、総係費の不用額689万7,009円のうち66万8,100円、資本的支出におきまして、水源浄水場施設整備費の不用額 1 億2,044万9,828円のうち9,498万5,993円、配水施設整備費の不用額6,988万2,521円のうち4,455万円、諸設備費の不用額 2,135万2,560円のうち2,035万円を繰り越します。

次に、青いインデックスの報告第 1 号を御覧ください。

春日那珂川水道企業団水道事業会計予算繰越報告についてでございます。

1 枚めくっていただきまして、予算の繰越しにつきまして、ただいま説明いたしました分を表にまとめております。

1 ページ、2 ページ、資本的支出において 7 件、2 ページの一番下に記載しておりますが、数字の部分の左から 3 列目、合計の 1 億5,988万5,993円。

次の 3 ページでございます。

収益的支出におきまして 1 件、表の一番下に同じく表記しておりますが、3 列目、66万8,100円を繰り越しております。

次に、報告第 2 号でございます。

次の青いインデックスの報告第 2 号を御覧ください。

当企業団の情報公開条例に基づきます運用状況の報告でございます。

1 枚めくっていただきたいと思っております。

情報公開制度の運用状況につきましては、御覧のとおり開示請求が 4 件、下表のとおりとなっております。これら全て開示しております。審査請求のほうはあっておりません。

次のページを御覧ください。

個人情報保護制度の運用状況につきましては個人情報の登録件数が228件、これは増減はございません。次に、自己に係る個人情報の開示請求が昨年158件あっております。一

番下になりますが外部提供が50件、こちらにつきましては全て警察署等からの法的根拠のあるものとなっております、所定の手続により開示をしております。

以上で補足説明を終わらせていただきます。

○金堂議長　これで提案理由の説明及び補足説明は終わりました。

以上で本日の日程は終了いたしました。

明日午後2時から本会議を開きます。

これをもちまして本日の会議を終了いたします。

散会　14時25分